

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評価日	31年 3月 6日
団体名	岩村田本町商店街振興組合		
事業名	「岩村田商店街が取り組む 新たな子どもの居場所づくり」事業		
対象経費	1,608,840円	支援金交付 対象経費	603,840円
支援金額	301,000円		

事業の目的・内容	目的
	<p>①商店街が提供する「食の支援」はどのような形が望ましいか、をいろいろな形態で実践することによって検証する。</p> <p>②求められている「お母さん」のたまり場として適切な運営形態を求めて、さまざまな形態でトライアルし、検証する。</p> <p>③「子どもの学び」を多様化させることでいろいろな子どもの居場所を実践し「学ぶ楽しみ」を実感できる場を実践し、検証する。</p>
	内容
	<p>①「食の支援」 みんなでつくろう「子どもの食堂」 岩村田商店街らしい、取り組みにしたいと、プロの指導で子どもが作り、それを保護者と一緒に頂く。食後、こどもはご褒美として「岩村田商店街お買い物券」をもらって「商店街でお買物」を親子で楽しむ。(3回実施)</p> <p>②「子育てパパ・ママのダベリングカフェ」 子育てに悩む保護者対象に、助産師による子育て講座実施(①と同日日程で3回)</p> <p>③「子どもたちに学びの場」 I なおやマンプロデュースによる、「商店街と佐久こども未来館でのエコエコおもしろ大作戦」2日間の開催。 II 「感情認識型ロボットpepperを動かそう！大作戦」</p>

	<p>①「食の支援」 みんなでつくろう「こどもの食堂」 第1回目 10月 6日(土) 時間10:00~13:00 場所:こてさんね、岩村田商店街各店 参加者:3組8名の親子 料理「子どものはまち井とベネディクトサラダ」 講師:佐々木奈美氏 第2回目 11月24日(土) 時間10:00~13:00 場所:こてさんね、岩村田商店街各店 参加者:4組8名の親子 料理「鶏肉と豚肉のお友達ハンバーグ」講師:山口 第3回目 開催日 1月19日(土) 時間10:00~13:00 場所:こてさんね、岩村田商店街各店 参加者:5組13名の親子 料理「こんだけ?簡単ピザ。絶品!野菜ピザ」</p> <p>②「子育てママ・パパのダベリングカフェ」 講師 高橋 智恵 先生 第1回 こどもの脳とからだを育てる一汁三菜~胎児から思春期に大切な食事とは~ 開催日 :10月6日(土) 13:30~15:00 対象:妊娠中の方~乳幼児をお持ちのお母さん 参加者:4組9名 場所:こてさんね 2階 第2回 ~誰もが迎える更年期。女性にも男性にも更年期はあるんです~ 開催日:11月24日(土) 時間:13:30~15:00 対象:子育て中のお父さん、お母さん 参加者:5組10名</p>
--	--

第3回 心とからだと脳にいいことだらけのベビーマッサージ

～マッサージで子どもの心とからだと脳の安定を～

開催日：1月19日（土）時間：13:30～15:00 対象：1歳未満の子どもと保護者

定員：8組 22名

③「子どもたちに学びの場」

第1弾

「なおやまん」プロデュースによる「商店街と未来館でのエコエコおもしろ大作戦」

第一日目 9月22日（土）ガラクタ集めと作品制作 場所 岩村田商店街 こてさんね

時間 午後 1時～5時 参加者 8組 17名

第二日目 9月23日（日）「モンスターハウスで一緒に遊ぼう」

時間帯 午後1時30分～3時30分 場所：子ども未来館 参加者：20名親子

第2弾「感情認識型ロボットpepperを動かそう！大作戦」

開催日時 10月27日（土）11月3日（土）11月10日（土）各 午後1時30分～3時30分

開催場所 岩村田寺子屋塾

実施内容

感情認識型ロボット pepperの仕組みと、アプリの基本的な構造を参加者に楽しく学んでもらいました。

第3弾 「支援の必要な子どものための基礎学力講座」

開催日 11月10日、24日、12月1日、22日、1月12日、26日、2月9日、23日（計8回）

時間：10時～12時 場所：岩村田寺子屋塾 対象：支援の必要は小中学生

参加者：計 24名

事業の活動実績



なおやマンによる「ハイサイモンス



子どもの食堂 子どもがシェフ

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>①においては、「食」とおして作ることの喜びと「商店街」の魅力を同時に感じてもらえることをともに実践できました。参加者による評価も高く、子どもが作ることに参加することで充実感があった。ご褒美としての「岩村田商店街商品券」はとても魅力的で今までに入ったことのないお店にも入ることができ、新たな商店街のお店を発見できた、という声を頂戴している。これは、昨年以上の満足度を上げることができたことにほかならない。</p> <p>②昨年から要望が出ている潜在的に多く存在する「子育てに悩む親」の支援につながる場としてダベリングカフェは、回を追うごとに、参加者も増え、3回目では父親も含め、22名の参加を得ることができた。いかに、こういう子育ての支援の場が求められ、必要とされているかが判明した。</p> <p>③商店街や子ども未来館をベースにすることで、様々なことに興味関心をもつ子どもの育成につながることもできた。特に今回、父親の参加が目立ちモンスターハウス作りも大盛況で活気あるものになった。できた作品を「子ども未来館の来場者に提供」という着想は、とくにこうかきであった。実際来場してくれた未来館の来客も50名を越えており、予想を超えていた。ぜひ、方法を変えて、今後リニューアル予定の未来館でも、子どもの居場所づくりイベントを岩村田商店街と子ども未来館の連携のなかで実現したい。</p> <p>また、今回pepperを題材とした、アプリ作成イベントは、ちょっと参加者にとってレベルが高かったかもしれないが、今後学校教育の中でも取り入れられてくる、ソフト作成というAI教育環境に対応できるような楽しい学びの場はもうけていきたい。</p> <p>基礎学力講座については、今回参加してくれた学年は小6～高1生まで。とくに、学校に行ってもなかなか自分のペースで学習ができない子どももおおく、今回の講座でも中学3年生でも小5の内容から指導するなど、実情に合った学年の指導を実施。また、不登校気味の子の場合でも、この講座にはあまり休まずに複数回参加してくれるなど、学びやすい場になったようだ。支援の必要な子どものための学ぶ場はどれだっけあっても良いのだと感じた。学ぶ機会をつくってあげること、「できる」という感覚をあげあわせてあげることによって意欲につながれることを再確認できた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 自己評価を記入
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 自己評価を記入
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 報償費 基礎学力講座の講師謝金 計画では2名計上したが、参加者の状況で1名で対応可能であったので、1名にのみ経費発生とした。 需用費 計画ではA4リーフレット 4種類と計上したが、途中、FMさくだいらでの無料告知放送などもあり、3種類とした。また、基礎学力講座はその講座の特殊性から学校の支援級のための配布としたため枚数を1000枚とした。 役務費において、検便関係の費用は、参加者に比例して減額となっている。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	平成29年、30年と事業展開をして、判明したことは、「商店街」というコミュニティスペースは、地域住民にとって非常に重要な場所なのだという事。今年度、「商店街らしい居場所づくり」を提唱して事業を実施したが、31年度においても、さらに工夫を加えて、地域住民が求める「居場所（親子と）づくり」を練り上げながら、継続して実施していける事業を提案して進めていきたい。これから、岩村田エリアは「新しいまちづくり」に向けて計画が進行しているが、そのなかで、「子育て支援」「高齢者支援」は重要な街づくりの要素。これまでのノウハウを結集して、計画したい。
---------	--